

# 第1章. 効果の評価検証

対策効果の評価と検証については、平成24年度目標値である、石垣島からの流出目標3.7t/ha/年（畑地：12.0t/ha/年）と危険度マップや対策実績から評価検証する。

今後、陸域からの赤土等流出による水域及び海域への定量的な改善指標が構築された場合には、その値に準じた評価検証を行う。

## 赤土等流出予測評価システムの活用

対策目標値の評価と検証については、平成24年度目標値である、石垣島からの流出目標3.7t/ha/年（畑地：12.0t/ha/年）や危険度マップの流出可能性が高いほ場の面積（2,362ha）、さらには、対策実績から評価する。

本マスタープランでは、農地の諸条件を「赤土等流出危険度予測評価システム」（沖縄県農林水産部営農支援課、文化環境部環境保全課）（以下「予測評価システム」という。）に登録することにより、赤土等流出量を推定している。

そのため、対策目標値の評価と検証としては、今後展開される営農対策や土木対策の実績を基に「予測評価システム」のデータ更新を行い、目標達成状況を評価する。

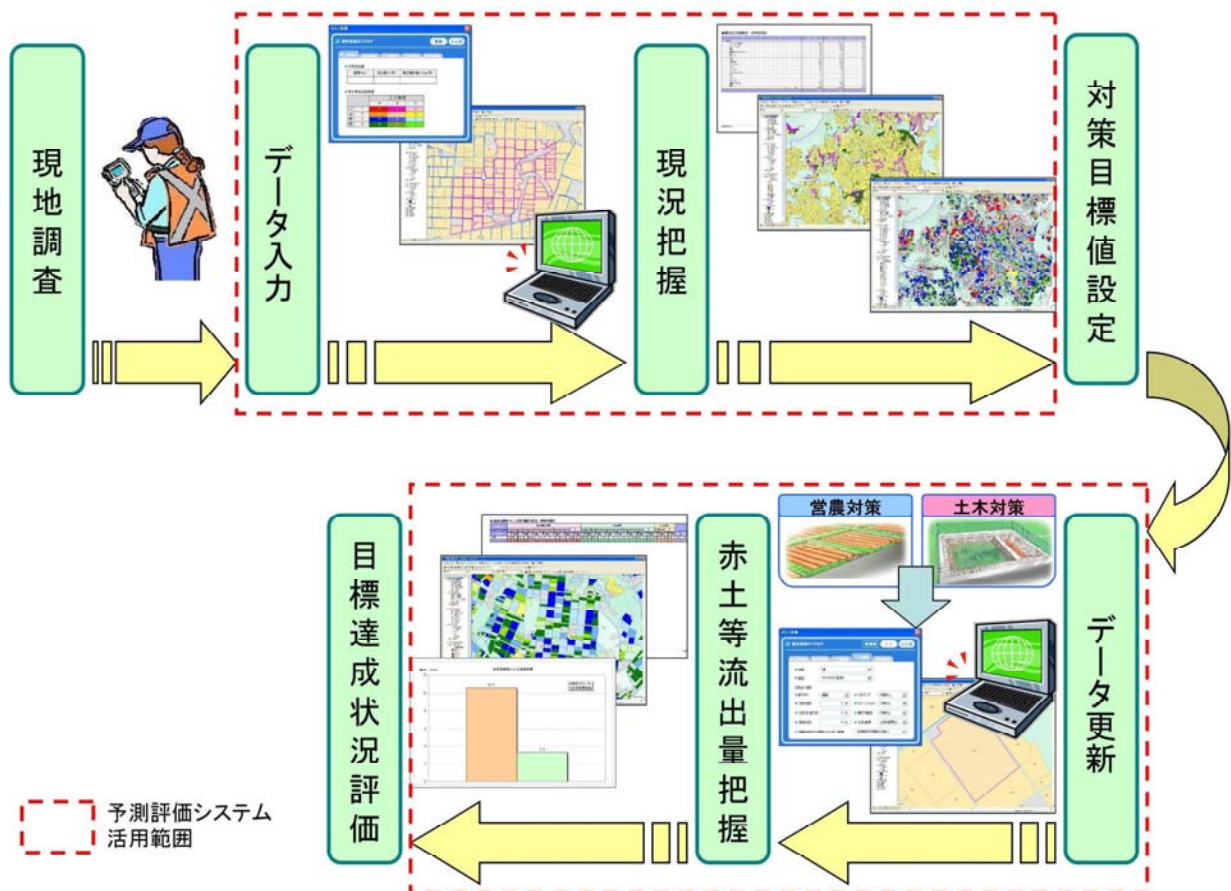


図4-1 赤土等流出防止対策における予測評価システムの活用イメージ